

消費生活

裁判手続を悪用した架空請求にご注意を!

最近、「支払督促」や「少額訴訟」といった裁判所の手続を悪用したり、裁判所からの通知を装った架空請求が見られます。これらは裁判所の手続が本当に進められている場合には、身に覚えがなくても放置すると、強制執行などの不利益を被るおそれがあります。

裁判所からの「支払督促」や「少額訴訟の呼出状」は、「特別送達」という特別な郵便で送付されることになっています。

■本物の「支払督促」や「少額訴訟の呼出状」は

①「特別送達」と記載された、裁判所の名前

- 入りの封書で送付されてきます。
②郵便職員による手渡しが原則です。
③受取りの際は、郵便職員から「郵便送達報告書」に署名または押印が求められます。
④「事件番号」・「事件名」が記載されています。また、「支払督促」には、「督促異議申立書」が同封されています。
※本物の通知かどうか分からないときには、通知に書かれた連絡先には絶対に連絡しないでください。電話帳や消費生活相談などで裁判所の連絡先を確認してください。

内閣府/法務省/国民生活センター

ご利用ください。消費生活相談

専門の相談員による相談を行っています。個人で対処しようとせず、相談をご利用ください。
■相談日/毎週水曜日(午前10時~午後4時)、毎週月・金曜日(午後1時~4時)
■相談場所/市民相談室(市役所1階)

土・日曜日の相談は

緊急的な土曜日・日曜日の消費生活電話相談窓口を開設しています。(京都府・京都市の共同事業)
土曜日・日曜日/午前10時~午後4時
☎257-9002、電話相談のみ

お問い合わせ 環境政策課市民安全係(内線249、235)

悪質商法にご用心

公民館クラブ学習発表会

公民館で自主的に活動しているクラブ・サークルが、今年も盛大に学習の成果を発表します。

展示発表の部

■寺戸公民館(☎933-0031)■

2月4日(土)・5日(日) 油絵、俳画、ちぎり絵、書、生花、編物、パッチワーク、俳句、料理、手芸、小物

■森本公民館(☎931-1183)■

2月11日(祝)・12日(日) 書、生花、フラワーアレンジメント(その他舞台発表あり) ※コーヒーコーナー

■上植野公民館(☎921-0012)■

2月18日(土)・19日(日) 編物、水引細工、絵手紙、生花、パッチワーク、手話

■鶏冠井公民館(☎921-0063)■

2月18日(土)・19日(日) 生花、フラワーアレンジメント、ハーモニカなど ※お茶席

■物集女公民館(☎921-0048)■

2月25日(土)・26日(日) 編物、書、ペン習字、生花

■中央公民館(☎932-3166)■

3月4日(土)・5日(日) 油絵、水彩画、書、ペン習字、文芸、写真、生花、社会探歩記録

※各会場とも土曜日は、午前10時~午後4時。日曜日は、午前10時~午後3時。お問い合わせは、各公民館へ。

舞台発表の部

3月12日(日) 午前10時30分~午後4時、市民会館ホール

【午前の部】合唱・合奏 【午後の部】謡曲、舞踊、民謡、詩吟、体操

お問い合わせ 中央公民館☎932-3166

歴史

むこうしの城と国衆

その10 戦国時代の村の姿と物集女城跡

向日市北部の物集女地区には、連載の初回にも少し触れた物集女城跡があります。城館の中心にあたる主郭部分の東辺に、土塁が約45mにわたって残り、その外側には今も水をたたえた堀があります。

物集女城跡は、向日丘陵の谷筋から東方の平地に出る場所にできた扇状地の先端近くに位置します。東土塁のなかから15世紀後半の土器が出土し、今から500年余り前の戦国時代初め頃に、土塁が築かれたことがわかりました。太平洋戦争後し

ばらくまでは、北側にも土塁が続いていたそうです。主郭の北西コーナー部には土塁の高まりが残り、大きなムクノギがあります。2002年の台風7号で上部が倒れましたが、今も物集女城のシンボルです。東堀は、地元では「城ノ池」と呼ばれ、谷あいの池から流れ落ちる水をいったん溜めて、さらに東側の水田へ送る用水池としての機能を持っています。城跡のすぐ東には、古代からの幹線道路である物集女街道が南北に通る、北側には丹波へ向かう丹波道(伏見道)が東西に伸びます。戦国時代中頃の天文11年(1542)、物集女に新しく市場が設けられた記録があり、人や物資がにぎやかに行き交う場所となっていたようすが想像されます。80年代以降、発掘調査が続けられており、堀も含めた主郭の規模は75m四方とわかりました。主

郭の中央部は、昔は竹藪で、戦争中に食料増産のため畑に開墾され始めました。ここは未発掘のため、どんな建物があったかはまだわかりませんが、西外側では柱穴や柵・溝の跡が発見されるなど、周囲にもお城の関連施設が広がっていたようです。城跡の地名を「中条」といい、集落の中心という意味を含みます。まわりには「御所海道」や「中海道」の地名があります。「海道」とは「海の道」や「街道」のことではなく「垣内」(カイト)の当て字で、古い時代の屋敷の存在を示します。地区の南北の端には「出口」や「北ノ口」があり、地名からもかつての集落のまとまりをうかがうことができます。このように物集女城とその周辺は、戦国時代の西岡国衆の城館と村の姿を、わたしたちに具体的にイメージさせてくれる貴重な場所なのです。



西側から見た物集女城主郭跡の堀と東土塁(2005年4月撮影)

新着図書のご案内

今月の一冊

くっくちゃん

ジョイス・ダンバー作 ポリー・ダンバー絵 フレーベル館

くつのなかにこっそりかくれたあかんぼうのくっくちゃん。くつのおふね、くつのひこうき、どこへだっておでかけです。せかいでいちばんすてきなところはいいぞんたいどこでしょう?

一般図書

- つい、怒ってしまう人の心理学 「怒りの習慣」に振りまわされない法 カール・セメルローズ著 ドナルド・スミス著 ダイヤモンド社
● 物乞う仏陀 石井光太著 文藝春秋
● 核を追う テロと闇市場に揺れる世界 吉田文彦編 朝日新聞特別取材班編著 朝日新聞社
● 現場主義 唐津一著 中央公論新社
● 生きかた上手 日野原重明著 ユーリーグ
● 「夜ふかし」の脳科学 子どもの心と体を壊すもの 神山潤著 中央公論新社
● 落合流、お洒落術。 落合正勝著 世界文化社
● たびを 花村文学の旅立ち 花村萬月著 実業之日本社
● 異国の客 池澤夏樹著 集英社
● タッチ ダニエル・キイス著 早川書房
● 冷たい銃声 ロバート・B・パーカー著 早川書房
● 女教皇ヨハンナ 上・下 ドナ・W・クロス著 草思社

児童図書

- 父と娘の法入門 大村敦志著 岩波書店
● 心をそだてる 子ども歳時記12か月 橋本裕之監修 講談社
● ごきげんぶくろ 赤羽じゅんこ作 あかね書房
● 走れ、セナ! 香坂直著 講談社
● ベッシーによろしく 花形みつる作 学習研究社
● ネアラ1 記憶をなくした少女と光の竜 ティム・ワゴナー著 アスキー
● もうふくん 山脇恭作 西巻茅子絵 ひさかたチャイルド
● あみものやさんピーヨのプレゼント おおしまりえ作・絵 岩崎書店
● キウイじいさん 渡辺茂男文 長新太絵 クレヨンハウス
● イボイボガエル ヒキガエル 三輪一雄作・絵 偕成社

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181